

汎用性の高い行動変容プログラム (第二期・案)について

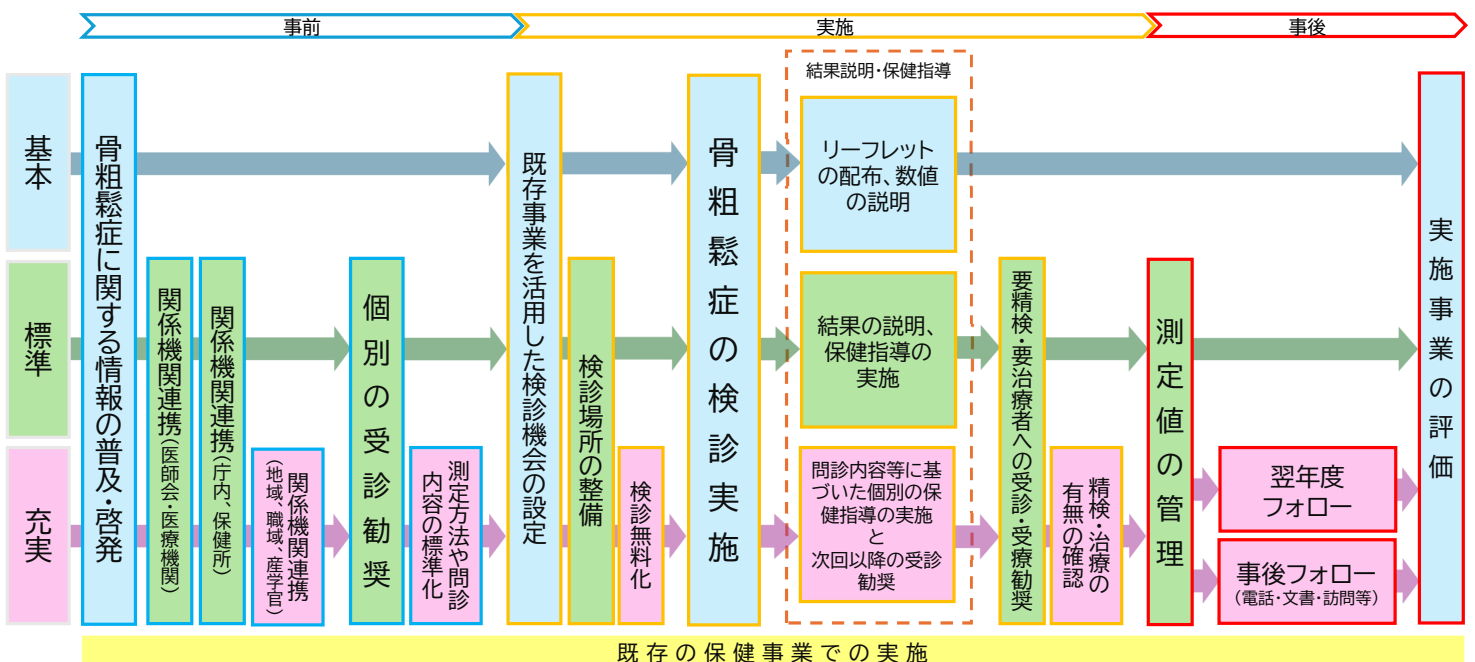
【プログラムの活用にあたって】

- 本プログラムは、効果的、効率的に保健事業を実施するにあたり、各自治体の実情を踏まえ、優先順位をつけて利活用いただくことを目的として作成。
- 本プログラムの概要版では、取り組む必要のある項目が一目でわかるようなものとして作成し、取組項目について、より具体的な取組みや実施のタイミング等を提案するための参考例として、こちらの詳細版を作成。
- 骨粗鬆症対策については、プログラムの「基本」の取組みから、「標準」、「充実」の取組みへと内容を段階的に実施できるような形で示し、対象者が明確化している「骨粗鬆症検診」については「骨粗鬆症検診の受診率向上」として、それ以外の対象へ行う「骨密度測定」については「骨粗鬆症対策のさらなる充実」として2つのプログラムに分け、市町村と関係機関との連携を踏まえた取組内容としている。
- ロコモ予防（フレイル予防を含む）については、プログラムの構成(支援方法)を「全体（集団）への支援」「対象者を絞った支援」と分けて、市町村の現状や課題を基に、地域環境や資源、住民特性に合うような事業の計画や実施ができるような形で示している。

1

【概要版】汎用性の高い行動変容プログラム(第二期) 骨粗鬆症対策 - 骨粗鬆症検診の受診率向上

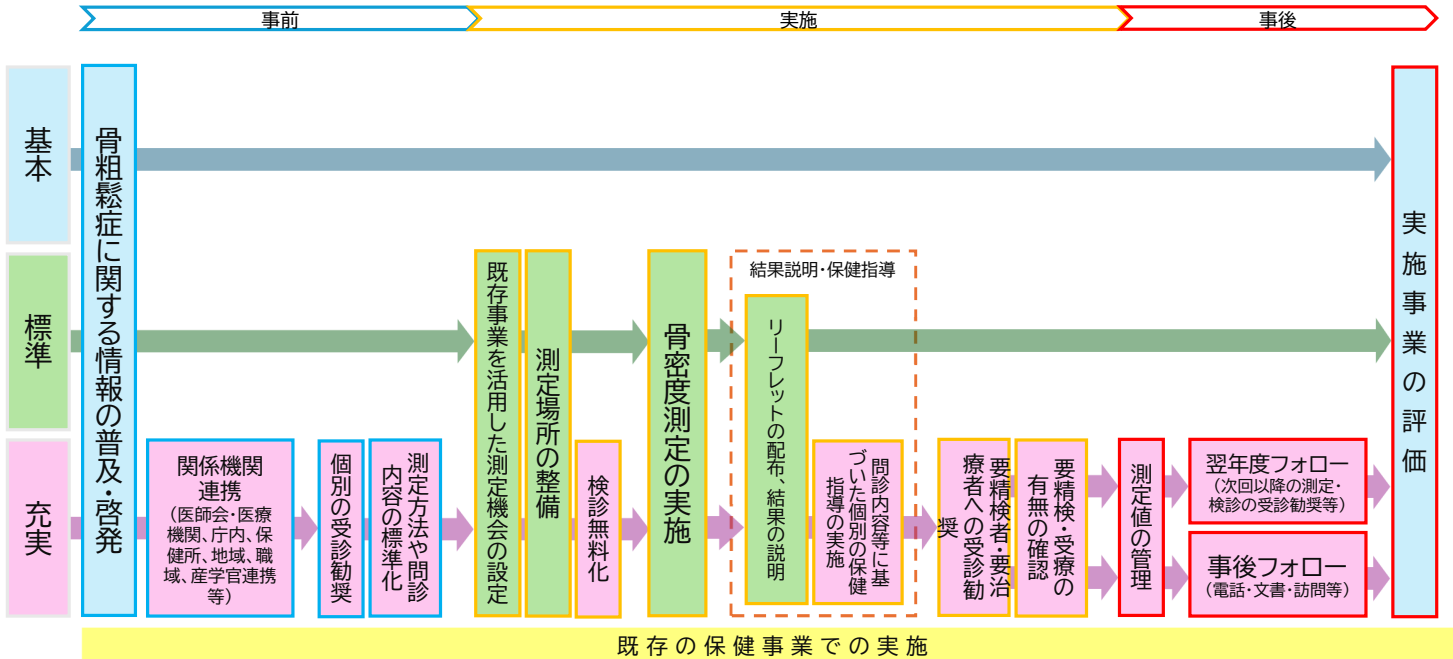
※ 健康増進事業の実施要項で示されている対象（40, 45, 50, 55, 60, 65, 70歳の女性）への実施に関する事業の向上を目的としたプログラム(概要版)である



2

骨粗鬆症対策 - 骨粗鬆症対策のさらなる充実

※ 健康増進事業の実施要項で示されている対象者以外も含めた、各ライフステージへの骨粗鬆症対策の実施と普及の向上に関するプログラム(概要版)である



ロコモ予防(フレイル予防を含む)

